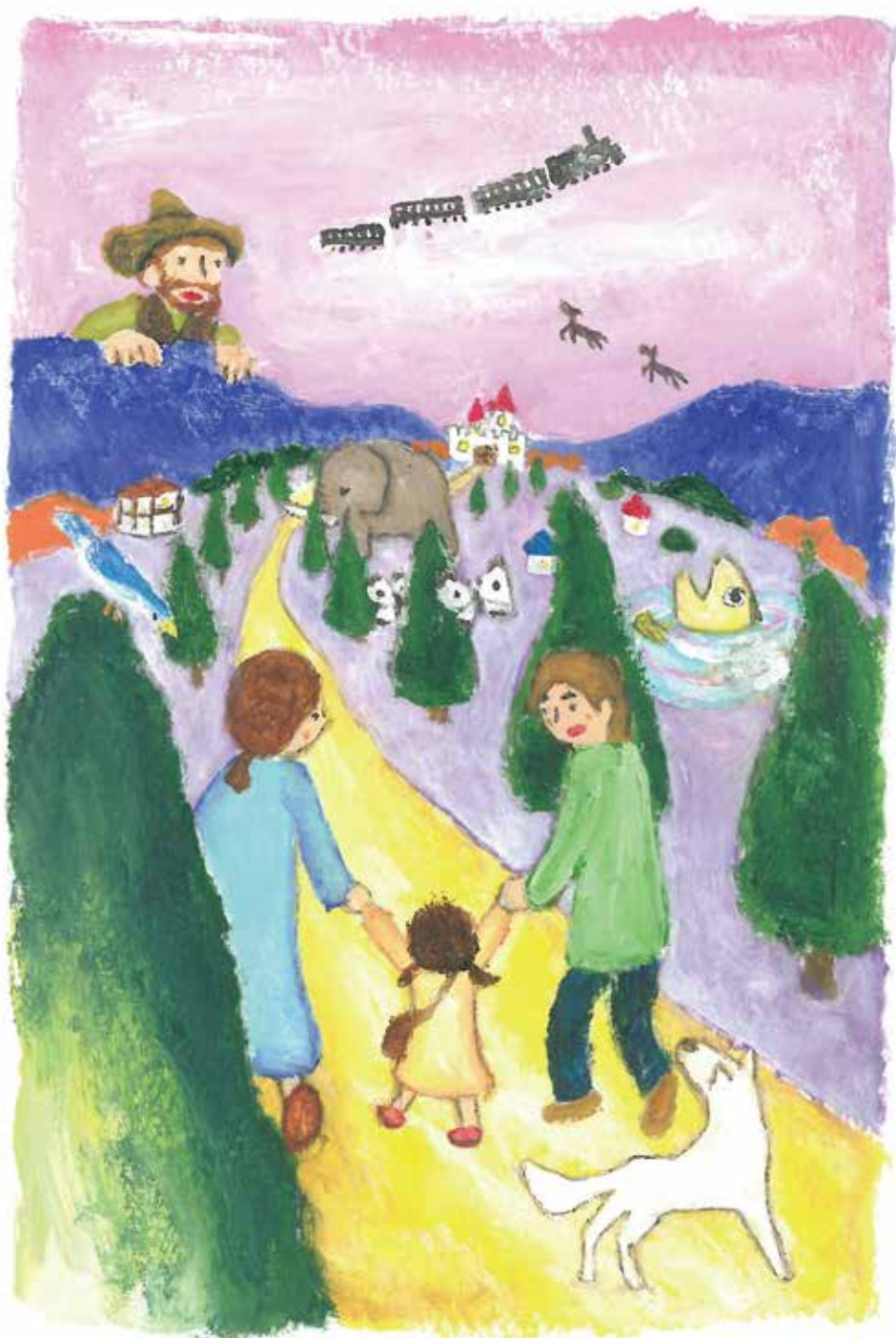




⑦

手をつなぎ

歩いて広がる子の世界



歩けるようになると行動範囲も広がり、それまでよりもぐーんと探索行動が盛んになってきます。

この好奇心旺盛な時期、目につくと、興味あるものは触ったり口に入れたり、親の心配はつきませぬね。その上、家から一歩外に出れば交通量が多く、歩かせることは心配のタネとなり、ついっただっこひもやベビーカー、自転車や車などで出かけてしまいがちです。

けれども、自分で歩けるようになった子どもにとっては、広い世界を眺めることは、驚きの連続です。子どもが自分で歩くということは、子どものワクワク感を大事にすると同時に、歩けるようになった身体や機能の発達を促すことにつ

ながります。

まずは車通りからちよっと離れた道端を、最初は手をつなぎ、子どもの歩幅で、子どもの歩ける距離を、ゆっくり歩きます。そのうち、だんだん手が離れていきます。親に見守られている安心感の中で、その子自身で少しずつ自分の世界を広げていく、そんな大事な時期を一緒に過ごしましょう。

子どもと手をつないで歩くのは、子育ての中でもほんの少しの期間。成長と共に、少しずつ離れていく子どもとの距離ですが、この宝物のような貴重な時期を、うんと楽しみたいものです。